

夢がなえ たよう。

with あだちの6大学

6つの大学×足立区のコトまとめました。



はじめに

昭和の時代、足立区内に大学はありませんでした。平成に入ってから少子化が進み、区内の小・中学校の統合が進む中、区では、閉校となった学校の跡地などを活用して、積極的に大学誘致を進めてきました。その理由は二つあります。

一つは、区民、特に小・中学生が大学を身近に感じることのできる環境をつくることです。「身近に大学に通っている人がいない」という子どももいました。また「大学なんか行っても意味がない」と、保護者が子どもの可能性を狭めてしまいう話も耳にしました。

そこで、大学を誘致することにより、子どもたちが大学のキャンパスや学生の様子を自分の目で見て、未来へとつながる夢や希望を具体的に思い描くための一助にしたいと考えました。

もう一つは、まちの活性化です。大学ができたことで、まちは多くの学生でにぎわい、それに呼応するように街並みも大きく変わりました。加えて大学には毎年新入生が加わりますので、まちの「若さ」と「新鮮さ」が保たれます。

いまでは専門性の異なる個性豊かな6つの大学が区内に揃い、うれしいことに

各大学が区と連携し地域に向けて趣向を凝らした、様々なイベントや講座を実施してくださっています。

先日、ある大学の理科実験講座に参加した子どもから「大学生がやさしく教えてくれて楽しかった。もっと難しいことを大学で勉強してみたい」という感想をいただきました。そんな声が届くたびに、これまでの歩みは間違っていないかったと実感します。

子ども向けの企画だけでなく、大人向けのメニューも充実しています。人生100年時代。「いくつになっても学び続けたい」という希望に応える環境が、足立区には整っています。このパンフレットをご活用いただき、ぜひ大学との新しいかわりを発見してください。

足立区長 近藤 やよい

足立区には6つの大学があります。

足立区は積極的に大学を誘致し、今では6つの異なる専門性を持つ大学が集まりました。学生数は18,000人を超え、特に千住は多くの学生でにぎわい、学生のまち」と紹介されることも多くなりました。



文教大学 東京あだちキャンパス

学部 国際学部、経営学部

大学院 国際学研究所

UR花畑団地跡地 / 令和3年4月開設



帝京科学大学 千住キャンパス

学部 生命環境学部、医療科学部、教育人間科学部

大学院 理工学研究科、医療科学研究科

元宿小学校跡地 / 平成22年4月開設



東京藝術大学 千住キャンパス

学部 音楽学部音楽環境創造科

大学院 音楽研究科、国際芸術創造研究科

旧千寿小学校跡地 / 平成18年9月開設



東京電機大学 東京千住キャンパス

学部 システムデザイン工学部、未来科学部、工学部、工学部第二部

大学院 先端科学技術研究科、システムデザイン工学研究科、未来科学研究科、工学研究科

日本たばこ産業(株)社宅跡地
平成24年4月開設



東京未来大学 堀切キャンパス

学部 こども心理学部、モチベーション行動科学部

第二中学校跡地 / 平成19年4月開学



放送大学 東京足立学習センター

学部 教養学部

大学院 文化科学研究科

平成5年4月綾瀬に開設

平成12年10月千住に移転



Science

大学 といっしょに 科学 でワクワクする

科学って
楽しいよ！



側になりました。そう話すのは、東京電機大学4年生の関延凌さん(写真右)。子どもたちとふれあうことで、自身もあらためて科学の魅力やおもしろさに気づくという。

授業の様子を見学していた保護者は「大学の雰囲気を感じながら、本格的な実験を体験できました。今日をきっかけに、さらに理科への興味関心が広がると感じました」と笑顔で話す。家に帰った後も、その日体験したことで家族の会話がはずむようだ。

子どもたちの「なぜ？」に応える

帝京科学大学の「夢の体験教室」では、将来先生を目指す学生と一緒に様々な実験にチャレンジする。大学生のお兄さん、お姉さんが、子どもの目線でやさしく教えてくれると好評だ。

子どもたちは熱気球を飛ばしたり、化

あの日のワクワク、伝える立場に

大学があるまちには、子どもたちの好奇心が芽吹きます。キャンパスに足を運び、様々な体験をすることで「やってみたい！」という気持ちが生まれ、夢や目標への一歩が始まります。

小学生を対象に夏休みに開催される東京電機大学の「科学・ものづくり体験」は、身近にあるものを使ってロボットなどが作れるとあって、理科好きの子どもたちに大人気の恒例企画だ。理系大学のキャンパスに初めて足を踏み入れた子どもたちは皆、実験室の専門的な設備に目を輝かせる。

「自分も子どもころから理科の実験が好きで、同じような体験教室に参加していました。今は、その楽しさを伝える

学反応を利用してスーパーストールをつくったり。日常では味わえない科学体験に、「学校では教わらないことを知ることができた」「もっと色々なことにチャレンジしたい」という声があがる。

子どもの理科離れが進むといわれている昨今だが、足立区には小さなころから科学にふれる機会がたくさんある。大学が身近にあることで、未来への道筋が見えてくる。子どもたちの「なぜ？」に応える環境が、ここにはある。



製作したカメラの原型をのぞきこむと、遠くの景色が鮮明に見えてビックリ！

東京電機大学 科学・ものづくり教室



東京電機大学

生成AIを使ったポスターが完成。AIが思った通りの画像を出力しなくて大変だったけど、みんなでポスターをつくるのは楽しかった！



東京電機大学

「電気的基础講座+ブレッドボードで電子回路製作！」で、保護者が設計図を読み上げ、子どもが回路を製作。試行錯誤の結果、なんとかLEDライトが点灯！



帝京科学大学

「夢の体験教室」で小学生たちが色々な実験にチャレンジ。何度も失敗を重ねながらつくった熱気球が、最後にやっと「ふわり」

大学と描く

芸術

がまちの風景を彩る

足立区には、日本を代表する芸術の拠点である東京藝術大学のキャンパスがあります。学生たちは日々創作に励むだけでなく、地域の人々と協力しながら、まちにアートを届ける活動にも取り組んでいます。

まち全体がステージになる

夏休み、東京藝術大学のキャンパスを舞台に「おぼけ屋敷」が開催された。学生たちの技術とアイデアを最大限に生かした企画に、地域の子どもたちは怖がりながらも、楽しんだ。

足立区と東京藝術大学とNPOが共催で取り組む「アートアクセスあだち音まち千住の縁」の企画「1DAYパフォーマンス表現街」は、千住の商店街を舞台に見立て、公募で集まったパフォーマーたちが一斉に思い思いの表現を披露する



「1DAYパフォーマンス表現街」で、個性豊かなパフォーマーが千住の商店街をジャック！

©大野隆介

イベントだ。同時多発的に繰り広げられるパフォーマンスによって、商店街は一日だけ表現街に変貌する。まちの人々はいつもの見慣れた風景の中に非日常を発見する。通りすがりの買い物客が足を止め、驚きと笑顔が生まれる光景は、まさにアートがまちと交わる瞬間だ。

アートのまち、千住

クラシック音楽をはじめとした演奏会が区内各地で開催され、地域のホールや施設で世界水準の音楽を気軽に楽しめる

環境が身近にあることも、大学のあるまちの豊かさだ。

アートはただ鑑賞するものではなく、人と人、人とまちをつなぐ力を持っている。大学とまちが共に育むアートは、地域の人にとって芸術を身近に感じるきっかけとなり、学生にとっても学びを深める貴重な経験となる。その積み重ねが「芸術が根づくまち」という新しいイメージを形作り、千住は今、アートのまちとして注目を集めはじめている。



無数のシャボン玉が幻想的な風景を作りあげた
「Memorial Rebirth千住 2024 舎人公園」

©富田了平



東京藝術大学

「文化の日 音楽祭『アダチ・藝大・LIVE!』2023」での、大学を卒業した新進気鋭のチェロ奏者による演奏。極上の音楽に観客もうっとり



東京藝術大学

学生や卒業生が小・中学校に出向いてレッスンや演奏を披露。ハイレベルな技術指導に加え、講師の奏でる美しい音色に子どもたちはワクワク！

大学

と一緒に取り組みれば

暮らし

はもっと楽しくなる

Living

夢がなえよう。
with あだちの6大学

大学の研究は、ときに地域の「暮らし」をテーマとし、関わることも、そこで生まれる交流から、互いに学び合い、暮らしが少し変わることもあります。

地域に飛び出す授業

「高齢者と聞くと物静かなイメージでしたが、僕らが訪問している92歳の多田さんは活力があって逆に元気をもらえて。高齢者にもいろいろな方がいると知りました」。そう話す竹内洋秀さんは介護福祉士を目指して帝京科学大学に入学。医療福祉学科の必修授業「福祉科学セミナー」の千住便利隊で、週に一度、



「笑いヨガ」やお話を楽しんだあとはみんなでババ抜き！



帝京科学大学 千住便利隊

多田さん宅を訪問している。

千住便利隊は、掃除や買い物、話し相手など、地域の高齢者が望む身体介護以外の手伝いをする活動。2・3人が一組となって、週に一度の訪問を続ける。今では常時、約20組が活動を行っており、大学が意図する「都市の地域セーフティネット」としての役割を広げつつある。

金曜日が待ち遠しい！

「金曜日が待ち遠しいの。帝京科学大学の学生さんは素晴らしい人ばかりだし、若い人と話ができる機会はほかにないので楽しい。大学ができて、いいことだらけ」と多田さん。担当教員の三木良子先生は「多田さんは、大学祭にも来てくれるんです。大学と学生が好きで、かわいがってくださるのがうれしい。それが生きがいや長寿につながるのならなおうれしいです」とほほ笑む。

看護学科でこの授業を選択した丸野莉子さんは、「看護師を目指しているので医療機関への就職をイメージしていましたが、活動が続けるうちに、地域で高齢の方を支える仕事も視野に入りたいと

思うようになりました」と話す。

地域の暮らしに一石を投じ、体験により学生の学びを深める「千住便利隊」は、大学が地域に飛び出す授業。ほかにも大学が企画する暮らしのイベントや講座も数多く、区民に暮らしのヒントを提供している。

千住便利隊は、金曜日の最後の授業。笑いながら1週間が終わるのは本当に楽しい！



東京未来大学

鳥海・小谷ゼミナールの「親子で救急体験」で大人と一緒に子どもも心臓マッサージの練習。ちょっと力が足りないかな？



文教大学

足立区主催の「くらしフェスタ」で黛ゼミナールが、バリ島バナア村で生産された手すき紙を用いた様々なアイテムを販売。学生が話す現地の人々の暮らしに、訪れた人たちは興味津々の様子



大学と一緒に楽しむ

遊び

には成長がある！

play



足立区の大学では保育士や教育者を目指す学生も多い。遊びの実践として開催される遊びのイベントは、訪れた子どもたちの好奇心やチャレンジ精神を育み、成長を力強く後押しします。

子どもと学生が一緒に成長する地域との合同イベント

東京未来大学の「こどもみらい祭」は、大学生と一緒に地域の小学生も運営に携わるイベントだ。小学生は、大学生の兄さん・お姉さんを身近に感じ、その姿を通して将来の自分を想像する。学生は、子どもたちとの交流を通じ、卒業後のキャリアデザインを描く。

「子どもたちと交流できる経験は、保育士を目指すうえで絶対に役立つと思う」

て運営に参加しました。そう話すのは東京未来大学3年生の関口玲那さん。「参加してみて、子どもの年齢に合わせてかける言葉を変えないと、うまく伝わらないと分かりすぐく勉強になりました。また、演劇を披露したとき、観た子どもが『楽しかったよ！』とわざわざ伝えに来てくれたことがありました。大人に話しかけることは勇気がいると思うが、それでも声をかけてくれたことがすごくうれしかった、と笑顔で浮かべ話す。

感謝と喜びが循環する地域のイベント

2015年に始まった「こどもみらい祭」は、いまでは地域に根付き毎年訪れる親子も少なくない。学生は子どもだけでなく、保護者からも「毎年この日を楽しみにしています」と感謝の言葉をもらうことが多いという。

また、過去に「こどもみらい祭」で一緒に遊んだ子どもが、小学生になって運営メンバーになることも。運営メンバー



東京未来大学

小谷ゼミナールの「インクルーシブひろば」に訪れた親子。視線の動きをパソコンのセンサーがキャッチしてステキな絵が完成！



東京未来大学

こどもみらい祭



帝京科学大学

「のびのびプレイデイ」では、ボールプール、さかなつり、折り紙、アワセサリー作りなど、楽しいブースがたくさん！

になった小学生は「大変だったけど楽しかった」「自分よりも小さい子どもがよろこんでいてかわかった」と話す。来場者を迎え、もてなす側として充実した時間を過ごせたようだ。

大学生と一緒に運営することは、子どもたちにとっては貴重な体験だ。そこで感じたわくわくや温もりは、子どもたちの可能性をひろげ、豊かな人間性を育み、未来の自分を支える力になる。

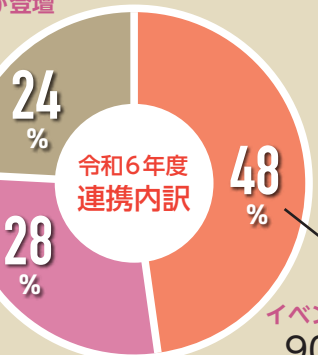
まとめ

1年に185の大学との連携企画

まちに大学があっても、自治体との関わりがそれほどないケースも多いが、足立区は連携を重視する。令和6年度の足立区と区内6大学の連携企画数は年間185に上る。区民にとって大学が身近な存在になるよう、これからも足立区の大学連携は続く。

大学の授業に区職員が登壇
大学の研究に協力 等

44事業



大学の先生が
区の会議に参加
51事業

イベント・講座
90事業

令和6年度
連携内訳

おいしいお弁当が
できました！



Town

大学と関わりと

まち

がもつと豊かになる

学生たちは授業やゼミ、サークル活動を通じてまちで学び、まちとつながっています。活動は学生自身の学びや経験を深めるだけでなく、まちや人々の生活にも変化をもたらしています。

食を通じた多世代のつながり

「1日3食を満足に食べられない子どもが日本にもいる。自分たちに何かできることはないのか」。文教大学東京あだちキャンパスが開設された2021年に発足した「ぶんこ食堂」は、そんな学生の思いから始まった。時が経ち、創設メンバーの学生たちは卒業したものの、いまも変わらず毎月1回開かれている。「がんばってつくったお弁当を食べた子どもが『おいしかったよ！』と言ってくれるとやっぱりうれしいですね」。そう語るのは2025年の代表を務める

文教大学3年生の石川由奈さん。「今後はもつと地域の人たちと深く関わりたいと思っています。お弁当を手渡すだけでなく、子どもたちと遊んだり、宿題をみてあげたり、ご高齢の方だったらちよつとしたスペースを用意して雑談ができるような、世代間交流ができる場所にしていきたいと思っています」とこれからの展望を話す。

先輩からは「自分たちらしい『ぶんこ食堂』を作り上げて」と言われたという。これからも石川さんたちは、創設メンバーの思いを大事にしながら自分たちらしいさもプラスして、ぶんこ食堂をより良く変えていく。卒業で活動が終わるのではなく、後輩が新たな風を吹き込む。この絶え間ない循環は、まちに大学があることの大きな強みになっている。

大学がまちを豊かにする

近くの団地から訪れた高齢者は「安くお弁当をいただけるのもありがたいけど、やっぱり若い人たちと交流できるのがうれしい」と話す。高齢化率が3割を超える地域において、老若男女問わず迎え入れる食堂は貴重な存在だ。学生にとっても、まちでの活動は得がたい学びと経験になる。こうしたWin・Winの関わりが新たな価値を生み、まちをより豊かに変えていく。



近くの地域学習センターで朝から準備。50人前のお弁当なんて最初は想像もつかなかったけど、今ではテキパキと調理ができるように！



東京藝術大学
授業の一環として千住でゴミ拾いをする東京藝術大学の学生たち。いつもと違った視点でまちを見ることが、新たな発見につながる



文教大学
海津ゼミナールとUR花畑団地の交流会。住民は「学生たちは孫よりかわいい」とニコリ



文教大学

ぶんこ食堂

大学があるから

学びがひろがる

Learning

夢がなえよう。
with あだちの6大学

人生100年時代のいま、ふとした好奇心が
学びの入り口に。
足立区の6大学は、
それぞれの特色を活かしながら、
生涯を通じた学びを区民に届けています。



放送大学

面接授業

人生のどこからでも、 学びは始まる

足立区内にある大学のプログラムの魅力は、その専門性と多様性。第一線の研究者から最新の知見を直接吸収できる講座や、キャンパスに足を運んで大学の充実した設備を体験できるワークショップは、知的好奇心を刺激し、学ぶ楽しさをあらためて感じさせてくれる。

放送大学は放送授業の他に、対面の面接授業も実施している。足立学習センターの授業に出席する幅広い年齢層の学

生たちから、次々に質問が投げかけられる。学びたい熱意があふれる教室は、理想的な学びの空間そのものだ。

「大学で広く学んだことを、子どもたちに伝えてあげたい」。そう話すのは普段は児童向けの英語講師を務めながら放送大学で学ぶ小島千奈さん(写真右)。知識のバトンが次世代に渡され広がることも学びの魅力の一つだ。

定年退職後に新たな挑戦を始めるシニア、仕事のスキルアップを目指す社会人、子育ての合間に学び直す主婦など、様々な人生経験をもった人々が、新しいチャレンジと情熱を胸に大学の門をくぐる。

まち全体がキャンパスになる

大学に入学せずに学ぶこともできる。例えば、生涯学習センターが開催する講座では、様々な大学の教員が登壇し、区民ニーズに応える学びを提供している。歴史・社会学・健康・自然科学などジャンルは多岐にわたるが、ほぼすべてに参加する「常連」の受講者もいるほどの人

気ぶりだ。

足立区と大学が共同で講座を企画することもある。6つの大学が順番に開催する「あだちの大学リレーイベント企画」では、その時々の特長をとりえたり、子どもから大人まで楽しめる講座を実施している。

年齢や立場に関係なく、知りたい、という気持ちがあれば、すべての人に学びの場が開かれているのが大学のまち足立区。自分のペースで、好きなことに夢中になれる環境がある。それは人生をより充実させる大きな支えになる。

キャンパスで発見。 思い出の学校

小・中学校の統合によって、生まれた土地や校舎を活用して東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学、東京電機大学(一部キャンパスのみ)は開学・開設された。校舎を再利用したキャンパスに足を踏み入ると、今でも当時の名残を見つけることが出来る大学も。



東京藝術大学千住キャンパスの階段は、旧千寿小学校のものをそのまま活用している



東京未来大学

「古文書講座—江戸時代の地域社会—」では古文書から当時の人々の生活を垣間見ることができる



文教大学

申込倍率が25倍を超えたあだちの大学リレーイベント企画、「プログラミングでドローンをとばそう!!」。自作のプログラムでドローンが飛んだ!



区内の6大学には、区民も気軽に参加できるイベントから、
しっかりと学べる講座までラインナップが豊富にあります。
まずは大学の情報をまとめた区ホームページをチェック！

